16年間ひたむきに
市民の声を届け実現させました
おぜき栄子 議員

日本共産党



国民健康保険税
1世帯7200円の引き下げを実現

連続して引き下げは足利市を含めて4自治体

議会のたびに国保税の引き下げを求め、平成24年、26年、27年度合わせて「1世帯当たり7,200円」資産割も「22%」の引き下げを実現。全国で平成27年度の引き下げを予定している自治体は13自治体有りますが、連続して引き下げているのは足利市を含めて4自治体です。共産党の議員がいることで実現できました。



介護保険料の引き下げ

保険料の基準となる「所得による区分」を見直し、低所得者の負担を軽減させました。



3歳未満児の保育料を15%引き下げ

赤ちゃんを抱えるお母さんの「負担が大変」という声を取り上げ、前市政のとき、「3歳未満児の保育料を15%」引き下げさせました。



他の議員と力をあわせ議会を動かす

第三者委員会を設置
中学生死亡事故(2012年8月)で

事故を受けて、他の議員に呼びかけ、第三者委員会を全会一致で設置。原因究明を進めました。

戦争する国づくりストップ

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求める請願の紹介議員となり、議会で「採択」を求め奮闘。おぜき議員を含め8人が「賛成」否決とはなったものの、「戦争する国づくりは許さない」という世論を高めるうえで大きな力となりました。



「住宅リフォーム助成制度の復活拡充と店舗リフォーム助成制度の創設を求める請願」が全会一致で採択！

議会で求めてきた住宅リフォーム助成制度と店舗版リフォーム助成制度の請願が3月議会に上程されました。

全建総連、建築業組合、電気商業組合、タタミ室内事業協同組合から提出されていた「住宅リフォーム助成制度の復活拡充と店舗版リフォーム助成制度の創設を市長に求める請願」が、25日に開かれた議会最終日の本会議に上程され全会一致で採択されました。議会側が助成制度の復活拡充、創設を求めたことに対し、市側の対応が注目されます。

